

5月1日 新しい『遠野物語』を創るプロジェクト

高校生が地域について考える

地域の課題を解決しながら、地域を担う人材を育成することを目的とした同プロジェクトの開講式が、遠野高校で開かれました。式では、プロジェクトに協力する関係機関



遠野の未来について講演する小野寺教授

が紹介されたほか、岩手大学地域連携推進センターの小野寺純治特任教授が講演。生徒は今後、関係機関と協力し課題解決に取り組む予定です。

5月4日 遠野長寿の郷でお祝い会

上組町の山尾芳江さん100歳

山尾芳江さんの100歳を祝う会は同所で開かれ、家族や同所職員らが祝福しました。山尾さんは、大正7年に兵庫



特製のプリンケーキに大満足の芳江さん(中)

県で生まれ、女学校を卒業後、二郎さん(故人)と結婚。遠野に移り住んでは、保険外交員として勤めながら3人の子供を育てあげました。現在は7人の孫に恵まれ穏やかに過ごされています。

5月22日 上閉伊酒造(株)が田植え体験教室を開催

ぬかるむ泥に悪戦苦闘！

青笹町にある上閉伊酒造(株)は、日本酒ができるまでの過程を理解してもらおうと、同社裏の田んぼで田植え体験を開催しました。体験には、青笹小学校の5年生17人が参加。



泥の感触を楽しみながら田植えをする児童

素足で田んぼに入ると、酒米になるひとめぼれの苗を丁寧に植えました。この日作業した田んぼは、17アール。秋には収穫体験も行う予定です。

4月25日 いわてっこ産地協定書合意式

ブランド米いわてっこを応援

同合意式はあえりあ遠野で行われ、本市と米穀専門卸商社の(株)津田物産(大阪府)、JAいわて花巻、全農いわて



4者が「いわてっこ」の生産支援を誓う

「いわてっこ」の作付け拡大と安定した生産、供給が目的。これから3年間、(株)津田物産が本市で生産された同品種を一定価格で買い取り、生産を応援します。

5月5日 遠野郷八幡宮こども流鏑馬大会

的の中に歓喜！ やぶさめ披露

遠野郷八幡宮の「こども流鏑馬」は同所で開かれ、市内外21人の児童生徒が参加。子どもたちは奉行姿で馬に乗り、



真剣な眼差しで矢を放つ

3つの的めがけて放った矢の的中数を競いました。この催しは、子どもの健やかな成長を願うもので、今年で27回目。子どもたちの一生懸命な姿に、観客からたくさん拍手が送られました。

5月13日 五日市マルシェ&超テクノロジーメッセ

市の賑わいと技術の最先端

同マルシェは遠野みらい創りカレッジ(旧土淵中)で開催。市民ら800人が鎌倉時代から約400年にわたり開かれていた



ロボット操作に夢中になっていました

「市」の賑わいを楽しみました。当日は、超テクノロジーメッセin遠野(日本青年会議所主催)が同時開催され、来場者は県内企業や大学などが研究している機器や最新技術に触れ、理解を深めていました。

遠野さくらまつり 多彩なイベントがふるさとの春を彩る



1_IBC岩手放送の菊池幸見アナが直義公役で入部行列初参加 2_八戸市新田城まつり運営委員会のみなさんも駆けつけました 3_熱い! うまい! 楽しい! フェスは盛り上がり 4_お花見会で型抜きを楽しむ子どもたち

さくらまつりは4月26日から5月6日まで開催され、多くの市民や観光客らが遠野の春を満喫しました。同まつりのメインイベント「南部氏遠野入部行列」(遠野町地域づくり連絡協議会主催)は29日に蔵の道ひろばを中心に行われ、総勢200人の行列が約400年前に八戸南部氏が遠野に入部した様子を再現しました。今年は、本市出身でIBC岩手放送アナウンサー菊池幸見さん(57)が直義公役として初参加。若き日の女殿様・清心尼公役を遠野馬の里の佐々木彩乃さん(19)が務めました。本市と交流のある八戸市新田城まつり運営委員会の皆さんも参加し、沿道に詰めかけた大勢の市民や観光客らは、歴史絵巻さながらの行列に酔いしれました。

入部行列の後は「遠野バケツジギスカンフェス」が同所で初開催され、約450人が会場に訪れ、遠野名物「ジギスカン」を堪能しました。会場では、遠野北小学校楽研太鼓や遠野中学校吹奏楽部・合唱部、宮守民謡保存会などによる歌や演奏が披露され、来場者は春の新しいイベントを楽しみました。

5月4日は、人千人遠野お花見会が同所で初開催され、多くの市民や帰省客らが様々な体験ブースを楽しみました。(一社)日本自動車連盟(JAF)は、顔写真入りの子ども運転免許証を発行し、多くの家族が思い出の一枚にしようと列を作っていました。

このほかにも市内では様々な催しが開かれ、市民や帰省客らで賑わいをみせました。

伊香学のチャタヌーガNOW! Vol.1

米国チャタヌーガ市との交流を、派遣職員・伊香がお伝えします!

チャタヌーガ市に到着しました!

5月10日に日本を出発し、13時間かけてチャタヌーガ市へ到着しました。14日からは、マウラ・サリバン最高執行責任者とジェームズ・マキシック多文化室

長のもとで、研修を受けています。研修では、電気式のバスで市内を見学したり、肌の色や宗教など、

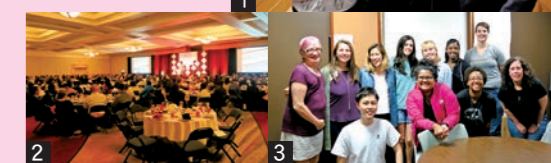
従業員の多様性に配慮した企業についての講演会に出席。行く先々で、チャタヌーガ市のみなさんから温かい歓迎を受けています。

6月21日にはCSAS校の生徒7人と引率2名が来遠します。現在は事前研修を行っていて、遠野を訪れるのが待ちきれない様子。遠野で彼女たちを見かけたら、気軽に声をかけてくださいね!

チャタヌーガ派遣職員 伊香学さん

新コーナー!

1_温かな歓迎を受けました 2_研修では、多様性についての講演を聴講 3_遠野を訪れる生徒たちの事前研修にも参加



★お知らせ

チャタヌーガ市での活動は、遠野テレビや(一財)遠野市教育文化振興財団のフェイスブックでも公開しています。ぜひご覧ください。

財団のフェイスブック

FB 遠野市教育文化振興財団

検索

